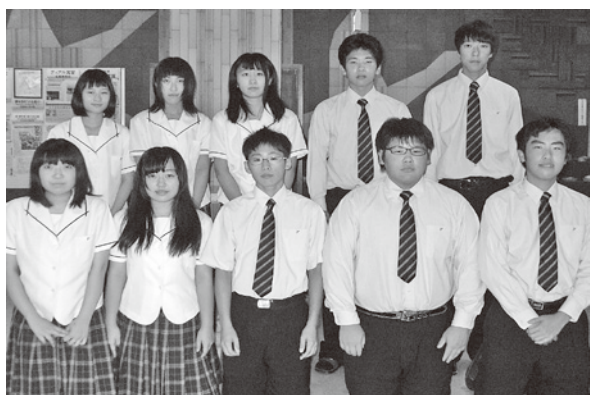


Funehiki High School News vol.111

◆新しい生徒会役員が決定

9月16日、生徒会役員の改選が行われました。演説会と選挙を経て、次の10人が任命され、新生徒会が発足しました。(敬称略、写真)

●会長…石井新一(2年、常葉中出身) ●副会長…野口誠哉(1年、大越中出身)、三浦ゆかり(2年、移中出身) ●書記…柳沼風(2年、三春中出身)、安田瑞季(1年、大越中出身) ●会計…伊藤南(2年、三春中出身)、柊井厳瑠(1年、都路中出身) ●会計監査…岡田一佐(2年、大越中出身)、佐々木玲海(1年、船引中出身)、渡辺琉捺(1年、大越中出身)



◆PTA奉仕作業を実施



9月17日午前7時30分から約2時間、後期PTA奉仕作業が行われ、約70人の保護者、部活動の生徒と職員の総勢約240名が、除草作業や石拾いなどを行いました。肌寒く薄暗い早朝からたくさんの方々のご協力を得て、学校環境を整備しました。

◆鵬翼祭が開催されます

本校の3年に1度の公開文化祭「鵬翼祭」の開催に向けて、全生徒が一生涯懸命準備をしています。

皆様のご来場を心からお待ちしています。

●一般公開
11月6日(日)
午前10時～
午後2時

●テーマ
We are always together
～最後の瞬間まで～



◆自殺予防キャンペーンに参加

9月12日、福島県県中保健福祉事務所が主催する「自殺予防普及啓発事業」に、保健委員会の生徒19人がボランティアとして参加しました。この事業は、自殺や精神疾患についての正しい知識を普及啓発する目的で行われたもので、本校生はメガステージ田村でパンフレット等を配付しました。



◆性に関する講話を聞きました



9月15日、1・2年生を対象とした性教育講話を行い、235人が聴講しました。桜井産婦人科医院院長の桜井秀先生に「性と生を考えてみよう」というタイトルで、医師の立場から、自分自身の人生と将来のパートナーとの人生に関わる講話をしていたが、生徒は真剣な表情で聞いていました。



故郷への思い

Kelly Anderson

ケリー・アンダーソンさん
(アメリカ合衆国
ペンシルベニア州出身)

海	を	越	え	て
英	語			
	指	導	助	手
ペ	ン	リ	レ	ー
			No.	41

私は2年前、写真撮影と恋に落ちました。

2年前のクリスマス、夫がキャノンのカメラをプレゼントしてくれて、私を驚かせました。すぐに私は飼猫のミロ、近所に咲いている花々、家庭菜園のトマトなど、周辺のすべてのものを写真に撮り始めました。手に入れてからほんの数日間で、この新しい機械に私は魅了されてしまったのです。

それ以来、どこにでもカメラを持っていくことにしました。カメラは私と共にグランド・キャニオンに行きましたし、馬の背に乗ってほこりっぽい小道を辿るユタ州へも一緒に旅をしました。これまでに私が見たことがない種類の鳥やレイヨウ、野生のヘラジカ、オレンジ色に焼ける夕陽、ごう音を発して流れる急流など——さまざまなものをカメラはとらえてきました。アマゾンのジャングルも旅して、貧困地域や家族のいない子どもたちの写真も撮りました。いつしかカメラは私の分身になり、出かける時にうっかり家に置いてきてしまった時は、とても後悔したものです。

そして、カメラは私と共に日本に来ました。

日本に来ることは、私がこれまでに経験した最も重大な決心の1つでした。結婚して2年半の間、両親から離れて暮らしてきましたが、それほど遠い場所ではありませんでした。私は今でも、両親から助けや導きを求めることがあります。日本で生活を始めたばかりの頃は、よくホームシックになり、父や母と話せる時間は「宝物」のように感じたものです。日本での生活はアメリカと違うので、日本での生活を作り上げる方法をどうやって見つければいいのか、日本語を話せない私が人々とつながるにはどうすればいいのかと、私は考えるようになりました。

すぐに気が付いたのは、家族が近くにいないとしても、私にはカメラがあること——まるで故郷にいるかのように感じさせてくれるものがあるということです。カメラさえあれば、撮った写真を見せるだけで人とつながることができます。それに、芸術は年齢や言葉を越えるものです。小さな子どもでさえ、芸術の美しさや本質を理解することができると思います。

私はレンズを通して、どんな被写体にも家族の姿を垣間見ます。

例えば桜は、背が高く、毅然として品位のある母。子どもを気遣いながら見ている、そして出会うすべての人に強い印象を与える女性です。

山々は、力強く、誠実な働き者の祖父。優しく家族の面倒を見て、人生経験を通してあらゆることへの対応を知っている男性です。

線路に沿って咲くひまわりが想起させるのは、私の妹。周囲の人々の愛と慈しみによって大きく成長する、美しく若い存在です。

最後に夕陽ですが、夕陽をカメラでのぞく時、心に浮かぶのは夫です。静かな力強さが安心と気配りを感じさせ、確かな信頼感を与えてくれる男性です。

こういったすべてのものをカメラでとらえてきました。自分がどの国の人なのかを考える時、私は自分が撮った写真を見ることにしています。そうすると、故郷に帰ったような気持ちになるのです。



福島県立船引高等学校 Tel...0247-82-1511 Fax...0247-82-5233
HP...<http://www.funehiki-h.fks.ed.jp> mail...school@funehiki-h.fks.ed.jp